

副腎ホルモン産生異常に関する研究(3)

研究代表者 長谷川奉延・慶應義塾大学医学部小児科学教室・教授

研究要旨

副腎ホルモン産生異常に関し、国民・患者・一般医師を対象とした普及と啓発を行った。

A. 研究目的

副腎ホルモン産生異常に関し、国民・患者・一般医師を対象とした普及と啓発を目的とした。

B. 研究方法

研究班員全員が市民公開講座の開催、患者会、都道府県単位の研究会・勉強会における講演、などを行った。

（倫理面への配慮）

本研究は慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認のもとに行った。

C. 研究結果

2018年12月23日に副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班第7回市民公開講を開催した(資料11)。参加者は約50名であった。

患者会、都道府県単位の研究会・勉強会における講演も複数行った(資料12)。

D. 考察

さらに、国民を対象とした副腎ホルモン産生異常に関する普及と啓発のため、ホームページの改訂を予定している。

E. 結論

副腎ホルモン産生異常に関し、国民・患者・一般医師を対象とした普及と啓発を行った。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし